

こども食堂に食品寄贈

を手渡した。
渡辺共同代表は「皆さん
の思いが子どもへの支援に
向けられ、心が豊かになる」
と感謝した。
寄贈品は、ネットワーク
に加盟する県内144カ所
の子ども食堂の利用者らに
届けられる。

民報社・福島放送 フードドライブ 取引企業など協力



渡辺共同代表に食品を手渡す安斎常務(中央)と早川常務(右)



福島民報社と福島放送は
取引企業などの協力を得

て、家庭で余った食品を募る「フードドライブ事業」「笑顔の広場」を実施した。段ボール107箱分とコメ162kgの食品を2日、ふくしまこども食堂ネットワークに寄贈した。

両社が結ぶ「ふくしまみんなのSDGs連携協定」に基づき、7、8、9月に行った。趣旨に賛同し協力した県内の企業、団体、教育機関は過去最多の43で、各事業所に設けた回収箱に食品が寄せられた。寄贈は4回目。

贈呈式はネットワークが事務局を置く郡山市の「福島コトひろく」で行われた。福島民報社の安斎康史常務が「子どもの笑顔がたくさん見られる子ども食堂になってほしい」、福島放送の早川源一常務が「活動を継続し、子ども食堂を支えていきたい」とあいさつし、渡辺啓二共同代表に寄贈品